

令和4年7月12日（火）

## 全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第37回）における丸山知事 発言（発言要旨）

今日の島根県の新規陽性者の確認数が1,262名となり、これまでの過去最多を500名超上回る、大変大規模な感染拡大に見舞われている。（※同日確認数訂正：1,271人）

### 1. 行動制限の取扱い等について

今日参加の多くの知事の意見と若干反するスタンスだが、（オミクロン株の）BA.5の感染力がどれくらい強いのか、どれくらいの感染者を惹起するのかがはっきりしない中で、重症化しない（と決まった）訳ではない。また、高齢者施設、医療機関でクラスターが起きれば、そこでの重症者リスクの高い方について死者が生じる可能性もある訳であり、そういう状況が十分わかっていない中で、BA.1、BA.2と同じ対応でいいのかどうかということも、視野に入れるべきだと思っている。

感染拡大防止と社会経済活動の両立、特に社会経済の両立が強調されているが、やはり、医療崩壊を招くような感染拡大を招く恐れがないのかどうかということについて、今の段階で、政府の認識は、昨日、尾身会長が検査やワクチンの接種、基本的な対策で乗り切ることが可能だと（言われていたが）、なぜ今の段階で判断できるのかということについて、極めて疑問である。

感染拡大がどこまでするかわからない中で、BA.1、BA.2の第6波の2倍、3倍の感染者が生じて、各県の医療が大丈夫なのかどうかということ、誰が保障してくれるのか、（政府が言うように）非常に楽観的なのかどうかということについて疑問を感じている。

本当に、行動制限なしに乗り切れる医療ひっ迫で済むのかどうかということの見立てがない中で、この感染力の強さに伴って（発生するかもしれない）医療ひっ迫を軽視する、（医療ひっ迫が）生じないと、この段階で断じて対応することが適切なのかどうかということについて、私からすると、リスクマネジメントとして楽観的すぎるのではないのかというのが基本的な認識である。

私は、今回の感染拡大で医療ひっ迫を招かない自信がないので、県民の皆さんに飲食の場において、利用の際に、2時間または3時間以内、4人以内といったお願いをさせていただいている。

本当にこういうこと（飲食時における時間や人数の制限）なしに乗り切ることができるのか、（実際は）これをもってしても感染は拡大しているが、本当に医療崩壊を招かない形で社会経済活動と両立できるのかどうかということは確定しておらず、そのリスクがあるという前提で、謙虚に臨むべきだと思っている。

詳細は申し上げないが、（私の）基本的なスタンスとして、政府の認識について、今の段階で行動制限等なしに乗り切れるという判断が本当に正しいのかどうか、それが何のエビデンスを基にしているのかということについて、認識を質していただきたいというのが基本的な要望である。